

ほけんだより 5月号

令和4年5月

大和保育所

さわやかな5月、入園・進級から1ヶ月経ちました。

新しい環境に緊張しながらも頑張った子どもたちは、この時期、緊張がゆるみ、心身ともにちょっと不安定になり体調をこわしがちです。

ご家族と連帯を取りながら子ども達の健康に気を配っていきたいと思います。

<5月は、尿検査があります>

◇尿検査 11日(水) 検尿容器配布

提出日12日(木)・13日(金)

※一次検査結果後、要再検査者 20日(金)に提出

★【注意】：採尿前夜は、身体【陰部】をよく洗っておきましょう。

提出当日の早朝尿を1滴でも良いので採取してください。

❖尿検査について

腎臓病、心臓病、喘息といった慢性の病気の早期発見、早期治療を受けさせようと法律で義務付けられています。腎臓病については、子供の時期に尿検査を行う事が腎臓病の予防と悪化防止に非常に役立つ事がわかってきています。

大切な検査ですので、指示どおり採尿し必ず提出をお願いします。

※検尿では、血尿(潜血)・たんぱく尿・糖尿を調べます。異常値が出た場合のみお知らせします。

5月のイヤイヤ期

5月は、4月からの環境の変化などにより、疲れが溜まり、眠れない、起きられない、食欲がない、イライラする、無気力などの症状が見られることがあります。ひどくなると、外出や登園もしたくなくなります。

5月のイヤイヤ期の脱出法は？

- ・のんびりお風呂に入って心と体の疲れを取る
- ・たくさん体を動かして元気よく遊ぶ
- ・睡眠時間をしっかりとる
- ・3食しっかり食べる

4月に発症した感染症

手足口病 1名 アデノウイルス1名
お腹の風邪(嘔吐・下痢)8名 クループ咳 1名 突発性発疹 1名

プール熱 1名 汗ばむ陽気かと思えば、肌寒い日もあり体調管理が難しい時期です。三歳未満児さんに鼻水症状の子どもさんが多くみられます。乳幼児期は鼻水による合併症(中耳炎・ちくのう症・口呼吸でいろんなウイルスが体に入りやすく病気になるやすい・においや味を感じにくいなど)があり注意が必要です。長引く鼻水症状がある時は、小児科や耳鼻科に**早めの受診**をしましょう。園で具合が悪くなって至急のお迎えの連絡をすることが多くなっています。**毎朝、登園前の健康観察をお願いします。**

かぜだと思って油断しない

かぜを甘く考えていると、気管支炎、肺炎、扁桃炎、中耳炎、おう吐下痢症といった病気にもつながります。うがい、手洗いを心がけ、規則正しい生活をしましょう。

※ 当園で発症した感染症については、玄関の白板に掲示しています。病気の予防・受診の際の参考にさせていただきます。

熱が下がったと判断し登園するのは、少なくとも24時間以上平熱が
続いた状態です。解熱剤を投与しての登園はやめましょう。
子どもの体に大きな負担になります。また、お家で用心する一日
があると、病気の長引きや再発を予防しやすいでしょう。

☆GWでお出かけは

- ・基本的な新型コロナ感染予防を心掛けましょう。
- ・人混みを避け・食事の際の感染予防マナーを守りましょう。
- ・咳・のどの痛み・熱などある時は、中止をしましょう。
- ・余裕を持ってお出かけし、後はしっかり休息を取りましょう。